



エビデンスに基づく 行動支援・実践コミュニティ

2026年

11/14

土

14:00~17:00
(途中休憩あり)



講師

庭山和貴

大阪教育大学 総合教育系・准教授
博士(心理学)、公認心理師

児童生徒の問題行動や心理的な問題の予防・減少効果が実証されている“学校規模ポジティブ行動支援(SWPBS)”を、日本の学校現場においてどのように実行・持続させていくかについて、複数の自治体・学校と連携して実践研究を行っている。
日本ポジティブ行動支援ネットワーク 副代表理事
2016年度日本教育心理学会優秀論文賞、
2020年度同学会城戸奨励賞受賞

「エビデンスに基づく行動支援」の実践交流会を下記の通り開催いたします。

今や日本全国に広がりつつあるポジティブ行動支援(PBS)について、情報共有と実践者のみなさまの繋がりをつくる機会です。ポジティブ行動支援に興味関心があれば、どなたでもご参加いただけます。

スケジュール

- 14:00-14:10 趣旨説明
- 14:10-14:50 実践報告① 小学校におけるSWPBS
- 14:50-15:00 休憩
- 15:00-15:40 実践報告② 中学校におけるSWPBS
- 15:40-15:50 休憩
- 15:50-16:30 実践報告③ SWPBSを推進する際の管理職の役割
- 16:30-16:35 休憩
- 16:35-16:50 参加者同士のグループ交流

※グループごとにPBSを推進する上での悩み・工夫の共有や、実践内容の共有を予定しています。
PBSに関するグッズやマトリクスなどがあれば、写真等で構いませんのでぜひお持ちください。
まだPBSを実践されていない場合も、お気軽にご参加ください。

16:50-17:00 まとめ

申込方法

以下URLもしくはQRコードより
予約フォームにアクセスしてください
<https://forms.gle/7NA6KAP3oqSjHhYF6>



対象・定員

教育委員会関係者・学校関係者
(対面：150名)

※先着順。定員に達し次第締め切り。

会場・アクセス

大阪教育大学 天王寺キャンパス
西館1階ホール

JR天王寺駅、地下鉄天王寺駅、近鉄大阪阿部野橋駅下車、徒歩約10分
JR寺田町駅下車、徒歩約5分



申込期限：11月11日(水)まで